



平成 30 年度 一般会計歳出決算額 274億3,623万円

市長は、翌年度予算額を決める3月定例会までに、監査委員が審査した前年度決算について議会の審査確認を受けなければなりません。そのため、決算特別委員会を10月16日、17日、18日の3日間審議し、全ての決算が認定されました。

	歳入（収入）	歳出（支出）
一般会計	28,414,506,447 円	27,436,232,835 円
特別会計		
国民健康保険事業	8,005,865,833 円	8,005,865,833 円
公共下水道事業	2,277,546,132 円	2,247,770,508 円
青果市場事業	14,735,649 円	14,735,649 円
小規模水道事業	5,737 円	5,737 円
介護保険事業	5,531,506,566 円	5,322,729,530 円
工業用地造成事業	4,640 円	4,640 円
後期高齢者医療事業	1,673,324,309 円	1,673,324,309 円
合 計	45,917,495,313 円	44,700,669,041 円

監査委員の報告

審査の総括意見から抜粋したもの

平成30年度決算では、17年連続して増加を続けてきた扶助費の決算額が減少に転じ、前年度と比較して約5千万円の減となった。その要因は臨時福祉給付金約1億5千万円がなくなったためであり、実質的には依然として約1億円増だったことになるが、毎年3億円以上も加速度的に増加する状況が5年も続いてきたことを考えれば、今回の増加速度の鈍化は大きな意味がある。しかし、物件費の増が経常収支比率を悪化させる要因の一つとなっていたことには注意を要する。日々の仕事にムダ・ムラ・ムリがないか、職員のコスト意識に緩みはないか等、職員一人一人が自問自答し、堅実な行財政運営を行う必要があると考える。

《主な質疑》

質問 経常収支比率が上昇した要因は。

答 公共施設の整備に伴い維持管理経費、施設の運営経費の増加によるもの及び医療費等の社会保障給付費の増加に伴う特別会計への繰出金の増加によるものである。今後も事務事業の効率化に積極的に取り組み、財政の硬直化に歯止めをかけなければならぬと考えている。

質問 自主財源を増やすため、どのような取組をしているか。

答 未利用財産の売却として4筆の土地を461万5千円で売却した。また広報うしくや運動公園野球場への広告掲載料として総額582万5千円の収入があった。今後は引き続き広告収入等を強化し、各公共施設の使料の見直しも行う。また未利用地の売却も進めていく。

質問 シティプロモーションのパンフレットの利用状況は。

答 牛久市への移住促進のため作成し、市内外のショッピングセンターや観光施設等での常時配布、ふるさと回帰支援センターで開催するイベント等で配付している。そこでは、子育て、教育、空き家、交通、就業状況等について問い合わせを受け、関係課と連携し、情報提供を行った。

質問 きぼうの広場の実績及び勤務実態は。

答 相談件数は1,782件、相談人数は348人、来所者数は、適応指導教室に20人である。勤務実態は、常勤職員1人の臨床心理士と教育相談担当非常勤職員3人、適応指導教室担当非常勤職員4人と特別支援担当非常勤職員5人である。

質問 岡田小学校のプールは使用できない状況だが、今後どうするか。

答 使用期間が短く、建設費やランニングコストが非常に高いため、運営や集約等を含め市全体として検討する必要がある。

質問 子育て広場のアドバイザーの人数・内容と利用者数は。

答 アドバイザーは15人で、子どもの養育に関すること、施設の案内等を行っている。また、アドバイザーの他に、保健師相談や歯科衛生士相談、栄養士相談に応じている。常設広場3カ所の年間利用者数は12,694人、出張広場3カ所は2,526人である。

質問 未使用の木造市営住宅解体撤去状況及び市営住宅の猪子への集約化計画は。

答 平成30年度は6棟を解体。今年度は11棟を予定している。集約化については、猪子住宅の地域内において解体と新築を並行して行い、建替えまでの仮住まいの住宅費や移転費用などのコストを抑え、基本構想に基づいて令和9年度に完成予定である。

質問 ICT教育の環境整備として、今後の課題として考えていることは何か。また経常的な物件費として増加したものに小学校タブレットリース料とあるが、今後小中学校合わせて年間にかかるリース料はどれほどになるのか。

答 市内全小中学校にタブレットが44台、電子黒板が1台、また大型モニターは全教室に配置されている。大型モニターに教材や写真、児童のノートを写したなどの利用をしており、デジタル教科書も小学校の理科と社会で利用している。教職員の中にもICTに対し得意不得意があり、スキルの向上が課題と考えている。また年間のリース料は小中学校合わせて約1億円となり、経常経費として大きな金額となっている。

こんなことに使われました

民生費
97 億 5,409 万円

- ・民間保育園の建設を支援する
5,397 万円
- ・敬老の日大会祝賀行事を助成する
2,477 万円

教育費
47 億 9,837 万円

- ・児童クラブを運営する
1 億 6,398 万円
- ・第一幼稚園を建設する
1 億 6,422 万円

総務費
35 億 6,698 万円

- ・コミュニティバスの運営 5,024 万円
- ・交通安全施設を新設する（カーブミラー、路面標示等）
379 万円

衛生費
26 億 470 万円

- ・予防接種を実施する
1 億 7,659 万円
- ・清掃工場を維持管理する
4 億 3,018 万円

農林水産業費
1 億 6,060 万円

- ・適正な転作指導による計画的な米の出荷を誘導する
2,416 万円

商工費
6 億 9,099 万円

- ・ハートフルクーポン券事業を支援する
4,432 万円
- ・かっぱ祭りを支援する
2,500 万円

土木費
25 億 5,912 万円

- ・未使用の木造市営住宅を解体撤去する
1,036 万円
- ・空き家の適正管理及び有効活用を推進する
888 万円

消防費
10 億 1,183 万円

- ・消防団を運営する
5,927 万円
- ・稲敷広域消防の運営に参加する
8 億 5,613 万円

公債費
20 億 4,624 万円

- ・元本の返済及び利息の支払い

令和元年第2回 牛久市議会定例会 決算特別委員会委員	
委員長	杉 森 弘 之
副委員長	鈴 木 勝 利
委員	守 屋 常 雄
〃	山 本 伸 子
〃	池 辺 己実夫
〃	長 田 麻 美
〃	伊 藤 裕 一
〃	甲 斐 徳之助
〃	北 島 登
〃	加 川 裕 美

決算特別委員会視察報告

10月16日に平成30年度決算に計上されている事業の視察を行いました。



ICT 機器を使用した授業（牛久南中学校）

ICT 教育授業

市内小中学校では ICT 機器を使って授業が行われており、今回は牛久市立牛久南中学校へ視察に行きました。班ごとにタブレットを使いながら協力して問題を解くクラスや、一人ずつタブレットを使用して作品づくりをしているクラス、大型モニターに映された動画を見ながら細部まで詳しく学んでいる授業等を見ることができました。

武道館建設

新設された武道館では、武道に特化したスプリング入りの床や、誰もが使いやすいように設計された更衣室、ユニバーサルデザインのトイレ等が整備されていました。また、災害時避難所となることを考え設計されており、ベットの避難場所も確保されていました。



武道館

黒木のぶ子議員



(質問) 牛久シャトーの早期復活を願う市民の声に応える必要が市にはある。しかしオエノンHD(株)が撤退した理由をどう検証、分析し、第3セクター設立に至ったのか。また民間資金の活用等P

(質問) 契約は20年だが、採算見込みをいつ頃と見込んでいるか。

(答弁) 採算ベースの目途は3年ぐらい。
(質問) 税金を投入し設立する新会社である。

(総務部長) 市は総合的対応の窓口として総務課が担当し、年1回



牛久シャトーへの取り組み

F-1の検討をしたのか。
(環境経済部長) 牛久

早期に収益を出せる人選の目星は。
(答弁) 今は公表できないが、交渉中である。

犯罪被害者の相談窓口

(質問) 犯罪被害者の相談窓口が本年4月ま

警察署等と「犯罪被害者週間」広報啓発事業を実施している。
※PFI：公共施設などの設計、建設、維持管理、運営に民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を図っている手法

秋山泉議員



根本市政の政治姿勢

(質問) 牛久シャトーの復活に向けての取り組みについては。
(市長) 観光施設としての機能を充実させ、集客が図れるよう努めていく。創始者神谷傳兵衛の遺志を継承していくために、醸造場

の取り組みについては。
(建設部長) 「集客力のある施設」「多世代の交流が可能となる施設」「学生等が積極的に利用できる施設」という要素を念頭に検討を進めていく。特に「集客力」の点については

(質問) エスカード牛久ビルの復活に向けて

としての機能を復活させ、新会社でワインの製造・販売ができるよう支援していく。

(質問) 公共交通利用困難地域の解消について。
(経営企画部長) 現在、デマンド型移送乗り合いタクシーの導入を進めている。デマンド型移送サービスの導入は、担い手との役割分担にも十分に配慮しながらスピード感を持って進めていく。



牛久シャトー

市政に対する一般質問

甲斐徳之助議員



(質問) 第3セクターの設立の根拠は。また他の運営方法の検討は。
(環境経済部長) 市民が望む市主導型の選択。他の検討はない。
(質問) 出資金約9500万円の根拠は。他に株主や役員構成は。

(答弁) 賃借期間においてはオエノンHD(株)との合意事項。経営がうまくいくよう努力する。買い取りの可能性はない。

(市長) 独立採算でやる。営業展開・PRもこれからである。



牛久シャトー

牛久シャトーの今後の事業計画を

(答弁) 出資金は法人税の関係で1億円を超えないようにした。牛久市99%余り、他役員3名で出資。

(質問) 賃借料と維持管理費用はいくらか。またその算出根拠は。
(答弁) 賃借料約5500万円。維持管理約1億円。運営費約4億7000万円。

防災ラジオ・街頭放送

(質問) 災害時等、ラジオの使用が有効と考

える。ラジオ配布や購入時の補助の考えは。
(市民部長) 条件付きだが新システム導入時に配布予定である。

鈴木勝利議員



ドライブレコーダー購入補助制度導入を

(質問) 本市での制度の導入の考えを伺う。
(市長) 調査研究を尽くした後、実施の可否を検討したい。

(質問) 校外実習や修学旅行など「超勤4項目」以外の業務を命じることがあるのか伺う。
(教育部長) 4項目以外の時間外勤務を命じることができないが、実際には朝の児童の迎

間管理について伺う。
(教育委員会次長) タイムレコーダーを導入し、1カ月の超過在校時間が45時間を超えないように指導監督をし

え入れ、休み時間の見守り、給食指導、ノートの評価やテストの丸付け、授業の準備、部活動、生徒指導、家庭訪問等、教師の献身的な勤めにより、学校現場は成り立っているのが現状である。

(質問) コミュニティスクールや地域学校協働本部の取り組みについて伺う。
(教育長) 4月に全校で導入されたコミュニティ・スクールの核となる学校運営協議会と地域学校協働本部は、学校現場の課題や学校

(質問) 教師の勤務時の理解と推進を
(質問) 教師の勤務時

学校の働き方改革の理解と推進を
(質問) 教師の勤務時

支援の在り方を協議し、連携して、学校における働き方改革を推進する原動力となることが期待できる。
※超勤4項目：①生徒の実習、②学校行事、③職員会議、④非常災害時、それぞれに関する業務



山本伸子議員



(建設部次長) 市の所有床を牛久都市開発(株)に賃貸しているが、撤退に伴い同社から牛久都市開発(株)に預託した敷金の返還を求められた。し

(質問) 4階は地権者からイズミヤが賃借していたが、撤退に伴い同社から牛久都市開発(株)に預託した敷金の返還を求められた。し



エスカード牛久ビル

エスカード牛久ビルと牛久都市開発(株)

(株)に有償で貸し付ける賃貸借契約を結んでいる。所有権を得たことで修繕積立金が新たに生じ、本年度はエスカレーターの改修などで追加負担を求められ、約9千万円の負担となる。

かし地権者に敷金を預託しており資金がなく、市が牛久都市開発(株)に対し4億円の貸し付けを行った。その際の事業計画や返済計画の資料を情報公開請求したが、金額などは非公

を立てることを条件とした。具体的には、牛久都市開発(株)が4階の地権者に毎月支払う床賃借料から一定の金額を控除する形を取り、貸付金の返還に充てる。

柳井哲也議員



牛久シャトーへの提案

(質問) 旧キャノンと本館では、発表会や展示会等の文化的イベントを間断なく開催し、観光客がいつでも見られるような形はどうか。また重要文化財指定の建物での飲食営業は、法の趣旨上、不適と考

(質問) 旧バーベキューガーデンの周りにファストフード店、屋台村のような気軽に利用できる店、子どもや若者に喜ばれる土産店を作るという提案については。

(質問) 旧テラウドウオエオンはワインの合う手頃な価格のレストランとして、ソムリエを常駐させたり、観光客、特にインバウンド対策として「国産ワインの殿堂」を併設してはと考えるが。

(質問) 以前より集客力があり、魅力ある施設にしていきたい。

(質問) グリーン



(環境経済部長) 旧キャノンはレストランとしての活用を最優先に検討している。本館の利用は、シャトーのイメージを損なわないよう検討していく。

(回答) 施設全体の調和を図りながら採算を考慮し検討していく。

(回答) 以前より集客力があり、魅力ある施設にしていきたい。

(回答) ブドウの栽培までを含めたシャトーワインの継続を考えている。

市政に対する一般質問

杉森弘之議員



(質問) 来春スタートの会計年度任用職員制度で、非正規雇用職員の雇用、賃金、福利厚生などの処遇改善を図るべきと考えるが。

(総務部次長) 再任用の回数制限はせず、期末手当を支給し、育児待てできる。今後、情報収集などに努めたい。



平成30年9月
文部科学省

(保健福祉部次長) 期待できる。今後、情報収集などに努めたい。

(質問) 昨年、文科省が『放射線副読本』、復興庁が『放射線のホン』を作成・配布した。放射線被曝は年間100mSv以下は安全などとされているが、非科学的

(質問) 来春スタートの会計年度任用職員制度で、非正規雇用職員の雇用、賃金、福利厚生などの処遇改善を図るべきと考えるが。

(質問) 昨年、文科省が『放射線副読本』、復興庁が『放射線のホン』を作成・配布した。放射線被曝は年間100mSv以下は安全などとされているが、非科学的

(質問) 来春スタートの会計年度任用職員制度で、非正規雇用職員の雇用、賃金、福利厚生などの処遇改善を図るべきと考えるが。

(質問) 昨年、文科省が『放射線副読本』、復興庁が『放射線のホン』を作成・配布した。放射線被曝は年間100mSv以下は安全などとされているが、非科学的

会計年度任用職員の導入にあたり処遇改善を

休業・部分休業も多く取得でき

して、踏み間違え予防装置の設置支援はどうか。

(市民部次長) 県の交通安全協会も一部補助を始めており、牛久市も注視していく。

で、原発事故を軽視するものであり、事故被災者の心情を無視するものだが。

(教育長) 副読本は小学校での使用はなく、中学校で5校中3校で使用している。

(環境経済部次長) 『放射線のホン』は無配布である。

須藤京子議員



積極的なまちづくりで過去最高の決算額に

民サービスに影響ないよう予算編成し、事業執行した結果である。

(質問) 災害等不測の事態や新たな課題に対応する財政力はあるか。



福祉移送サービス車両

(質問) 30年度決算は歳入歳出とも過去最高額となったが、その要因は。

(回答) 効率的な財政運営を行い、計画的な基金への積立を実施。財政調整基金や他の基金残高も増加している。

(質問) 消費税率の引き上げによる市の増収をどう見込んでいるか。

(回答) 地方消費税等

(質問) 市長が公約に掲げたデマンド交通の導入についての現状は。

(経営企画部長) 市内には民間事業者や咖啡馆号、NPO、ボランティア等様々な担い手、地域資源があり、有効活用することも重要である。導入に向けては、既存の担い手との役割分担に配慮しつつ、タクシー事業者との話し合いを、スピード感をもって進めている。

長田麻美議員



(環境経済部次長) 県も積極的に取り組み始めた。農業振興支援策の一つとして、生産者の声を聞きながら、県

(質問) 令和2年度より開校予定の義務教育学校の施設一体型校舎にする計画の具体的な着手時期はいつか。

(教育委員会次長) 国の補助金の活用を前提にすると、遅くとも令和5年には設計に着手

うに、併せて、一人一人の子どもに丁寧に対応できるように検討していく。



おくの義務教育学校

外国人雇用支援

(質問) なり手不足の多い農業等に有効な支援策と考えるが、力を入れてはどうか。

おくの義務教育学校

ていく。

や水郷つくば農業協同組合とも連携し検討し

(質問) スクールアシスタントの増員や勤務時間の拡大が必要であるがどうか。

(教育部長)

うに、併せて、一人一人の子どもに丁寧に対応できるように検討していく。

池辺己実夫議員



投票率を向上させる取り組み

(質問) 投票率の低迷と現状の分析は。

(総務部次長) 当日の天候や選挙の争点など、様々な要因が影響するが、本年4月の統一地方選挙では過去最低の投票率を更新したことに加え、直近の衆院選、

7月の参院選とともに戦後2番目の低投票率を記録するなど、全国的な課題となっている。また、本年行われた選挙の牛久市における10代の投票率は、全体と比較して10ポイント以上低く、若年層の投票率は伸び悩んでいる。

(質問) 期日前投票の活用と投票日の投票所開設時間は。

(答弁) 期日前投票の浸透により事前に投票

する方が増加傾向にある。投票所開設時間変更については、選挙人の投票の便宜のため、または、投票に支障をきたさないことを認められる特別の事情のある場合に限り、慎重に考えていく。

運転免許証の返納者に対する処遇

(質問) 返納者への支援制度であるかっぱ号利用券の使用状況は。

(市民部次長) 支援制度の開始から600人

みんなで投票。みんなで参加。
あなたの一票大切に



市政に対する一般質問

加川裕美議員



(質問) 導入のきっかけと目的を問う。

(市長公室長) 市民の声の窓口を一元化し、市政への理解・運用を目的とした。

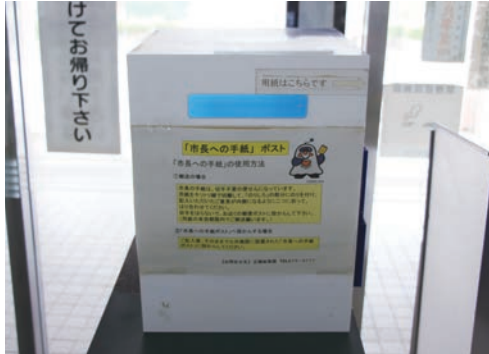
(質問) 平成30年度の意見数は。

(答弁) 来庁も含め、

(質問) 実費徴収になる副食費に對し、市の単独補助は。給食やおやつは、大切な保育の一

(質問) 無料で無償化

(質問) これまで市では「私立幼稚園授業料保護者負担軽減助成金」を対象家庭に独自助成してきた。今回の制度と



「市長への手紙」ポスト

市長への手紙

(質問) 導入のきっかけと目的を問う。

(市長公室長) 市民の声の窓口を一元化し、市政への理解・運用を目的とした。

(質問) 平成30年度の意見数は。

(答弁) 来庁も含め、

(質問) 無料で無償化

(質問) これまで市では「私立幼稚園授業料保護者負担軽減助成金」を対象家庭に独自助成してきた。今回の制度と

(質問) これまで市では「私立幼稚園授業料保護者負担軽減助成金」を対象家庭に独自助成してきた。今回の制度と

伊藤裕一議員



牛久駅西口

備を予定し、一般車駐車スペースの確保も検討。公衆トイレや歩道部へのシエルトー設置も順次進めてまいりたい。



牛久駅西口

(質問) 牛久駅西口活性化のため、改築工事が必要と考えるが。

(建設部次長) ペデストリアンデッキについては令和3年度に屋根の設置工事を予定している。バリアフリーに配慮した横断歩道の整

(質問) 風水害対応

(質問) 風水害対応



牛久駅西口

遠藤憲子議員



(質問) 第1、第9所得階層の保険料納付、滞納の状況は。
(保健福祉部長) 保険料収入は約14億1600万円で収納率は99・4%。滞納で多いのは第1所得階層で91人、第4で62人などである。

介護保険基金の活用で 保険料の引き下げを

(質問) 無収入、無年金でも介護保険料の納付が義務付けられる。納付できないとペナルティはあるか。
(答弁) サービス利用負担額が多くなり、制限がかかる場合がある。

(質問) 2018年度決算で基金は約16億円、補正予算で約1億円を積み立て約17億円となる。事業計画で残った分を基金に積み立てるのであれば、「保険料を下げてほしい」が市民の声だ。保険料引き下げの考えは。
(答弁) 第7期で3億8700万円を取り崩す予定。基金の大半を取り崩し基準額の引き下げにあててほしいとの意見もある。しかし、今後の給付費増に対して、一度下げた保険料を上げた時、上げ幅が急激になることも予想される。第1号被保険者への影響が大きい。実態調査を実施、基盤整備の検討、サービス量の推計などを行い、基金の活用を介護運営協議会



掲載以外の質問項目
○ファミリーサポート事業をもっと使いたい
○地域公共交通にデマンド型(予約制)の導入を

に諮っていく。

北島登議員



空き家対策

(質問) 空き家バンクの登録数の累計は何件か。成約数は何件か。
(建設部次長) 累計は47件、15件が成約。
(質問) 成約に至らない要因にはどんなものがあるか。
(答弁) 成約に至らない

道路の計画的整備を

(質問) 市が把握している改修が必要な市道、側溝の長さはどうだろうか。
(建設部次長) 改修が必要な道路は10路線10km、蓋のないU字溝は162km。
(質問) 舗装の改修、U字溝、側溝の蓋掛けの過去5年間の実績は。
(答弁) 道路改修は18カ所4255m、側溝蓋かけは1448m。
(質問) 今のテンポではU字溝の蓋かけは



蓋掛けしてあるU字溝

市政に対する一般質問

藤田尚美議員



(質問) 特殊詐欺の防止として、自動通話録音機の無料貸し出しの考えを伺う。
(市民部次長) 県のモデル事業があり、応募したが残念な結果であった。現時点、市独自の実施の考えはない。

特殊詐欺から市民を守れ

(質問) 注意喚起として、高齢者あての市からの郵便物に、防止メッセージを印字したらどうか。
(答弁) 有効な提案であるので、前向きに検討する。

子どもを取り巻く環境

(質問) 公立幼稚園の特別支援を要する児童への現状と課題を伺う。
(教育部長) 学校を地域に開き、地域と共に子ども達にとってよりよい学びの場を作っていく。



利根川英雄議員



エスカードビルへ 図書館設置

(質問) 牛久駅周辺とエスカードビル活性化について。市長の所信表明及び新聞報道では、美術館とのこと。
(市民部次長) 市に2トンの給水車がある。不足分は県南水道と自衛隊に依頼している。

(質問) 各避難所にある防災倉庫の検討状況は。
(建設部次長) ギャラリーと図書館で検討。

(質問) 千葉では、台風による停電で水道が断水になった。飲料水兼用耐震性防火水槽の設置を何度も求めてきたが。
(市民部次長) 市の2トンの給水車がある。不足分は県南水道と自衛隊に依頼している。

(質問) 私どものところ、教育委員会のパワハラ。
(教育部長) 身に覚えがない。

図書館の検討状況は。
(建設部次長) ギャラリーと図書館で検討。

(質問) 点検している。
(質問) 立木や電柱の倒木、倒壊で電線切れによる停電の恐れがある。それらの箇所把握は。
(答弁) 東電に依頼。



防災倉庫

常任委員会審査報告

総務

印鑑登録等に旧氏（旧姓）が記載できるように

住民基本台帳法施行令等の改正に伴い、本人からの申し出があれば、住民票や個人番号カード（マイナンバーカード）、印鑑証明に旧氏が記載できるようになった。（旧氏とは、その人の過去の戸籍上の氏のこと）

避難所への公衆無線LAN
請願書は継続審査

大規模災害時に二次避難所16か所への公衆無線LANの整備を求める請願。災害時に避難者への通信や情報収集、発信の手段として設備の提供を求めている。

委員からは市の防災の情報伝達手段として、防災無線やFM放送等の今後の整備計画との兼ね合いとの検討が必要であるとの意見があり、継続審査となった。



教育民生



義務教育学校となる牛久第二中学校

市立おくの義務教育学校が
来年4月開校へ

（問）奥野小、牛久二中学校舎を使用するが、管理体制は。

（答）小学校を前期、中学校を後期課程として、校長1人、教頭2人体制となる。小・中両方の教員免許を持たない先生もいるので県教育委員会に配慮を要請する。

（問）奥野以外に義務教育学校、または、一貫校の検討は。

（答）今はないが、将来的な選択肢の一つである。

いじめ調査委員会の立ち上げへ

（問）審議案件、委員会のメンバー、開催回数、立ち上げ時期は。

（答）対象は1件、法律や教育・医療などの専門家5人で8回開催を予定。3月に予定したが中止、中断の要望があり、時期を選定している。

産業建設

牛久シャトーの運営にあたる
第3セクターを設立

（問）経営計画の積算根拠は。

（答）以前の経営状況から得た実績を参考に算出している。

（問）飲食や物販を行うことになった経緯は。

（答）牛久シャトーの確実な存続を最優先に考えて市が借り受けて保護していくとともに第3セクターを設立し、収益を上げて文化財の保存及び活用に向けていく考えであることから飲食や物販を行うことになった。



牛久シャトー

議会報告会を開催しました！

令和元年11月9日（土）に牛久市中央生涯学習センター大講座室で「2019 牛久市議会議会報告会」を開催しました。

今回の報告会は、行財政、防災、教育、子育て、福祉、商工業、公共事業などについてワークショップ（フリートーク）形式で行われ、39人のご参加をいただきました。

報告会の内容の詳細については、次号（議会だより第100号／令和2年1月31日発行予定）に特集ページとして掲載します。

ご参加ありがとうございました。



令和元年台風19号に伴う
災害に対する義援金

牛久市議会は、令和元年台風19号に伴う災害に対する義援金を送ることを決定しました。義援金は全国市議会議長会を通じて被災自治体へ送られます。

教育民生常任委員会視察報告

居宅訪問型保育事業
（埼玉県朝霞市）

埼玉県内で朝霞市が初めて実施の自宅を訪問した障がい児保育事業を視察。対象児童は、感染症予防から集団での保育ができず、今回の新制度により地域型保育事業として「居宅訪問型保育事業」が創設され、個別的保育が公的に実施された。保育者1人につき乳幼児1人の配置体制である。

障がい者相談・就労支援センター
（埼玉県入間市）

入間市の障がい者相談支援センターは平成20年10月に市役所内に開設され、市内の4法人に委託。原則4人の相談支援専門員で対応している。対象は市内在住の障がい者、家族、介護人その他の関係者となっている。

就労支援センターは平成21年5月に開設され、ハローワークとも連携しながら市内1法人に委託、就労支援員4人で対応している。就労支援では、登

女性パーソナルサポート事業
（東京都国立市）

国立市では、4月から市内在住の女性を限定に女性パーソナルサポート事業を開始した。DVや離婚、精神疾患等により困難な状況に陥り、自立できない人や居場所がない人などの避難所としてNPO法人と契約。複数の宿泊先を確保している。また、国立市で取り組みを進めているプログラミング教育を視察した。

視察した各市の取り組みは長年の懸案事項を他の団体や機関と連携しながら事業を展開している。牛久市でも大いに参考すべきことだと学んだ。

